

投資スクール

図鑑



＼ 高機能 ＼
相場の動きを
的確に拾う！

20個の勝ちシグナルで次の動きを読み取ることができる
独自の勝ちシグナルをまとめた図鑑の決定版

受講者様特別特典

著者 Mr .Hilton

投資スクール

こんにちは。

Mr.Hilton です。

皆様には図鑑を正しく使用していただくために
下記の使用ルールを守っていただきたいのです。



図鑑使用ルール

- ①印刷を必ず行い常に持ち歩き見るようにすること。
- ②毎日時間があれば図鑑の勉強すること。
- ③トレードの際は必ずすぐ見れる場所に置くこと。
- ④セミナー参加時はこの図鑑を持参すること。

注意：外部への無断転載はご遠慮ください。

※外部への情報提供、販売が発見された場合は
著作権法に基づき法的処置をとらせていただきます。

習得のための4つの『T』

TIME

私は最大に効率を上げるためのより良い時間を買う

TAKE

私は自分の感情を他人にコントロールされずあくまでも自分で選ぶ

THINK

私はより最大の成果を上げるために常に考える事をやめない。

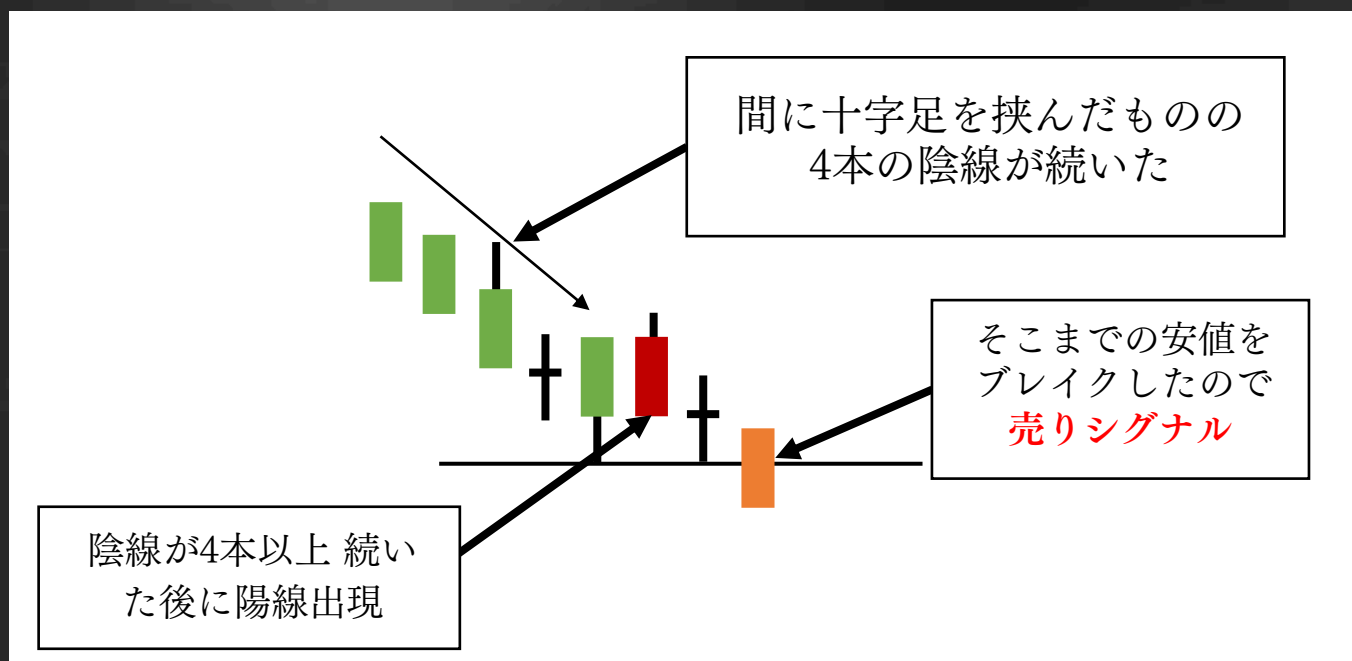
THANK

私は新たなチャレンジを出来ることに日々感謝する。

投資スクールへの意気込みを教えてください。



【売】5ミニッツコンティ (ショート)



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★

利点：トレンドフォローで勢いに乗れる 弱点：

レンジ相場では出現しにくい

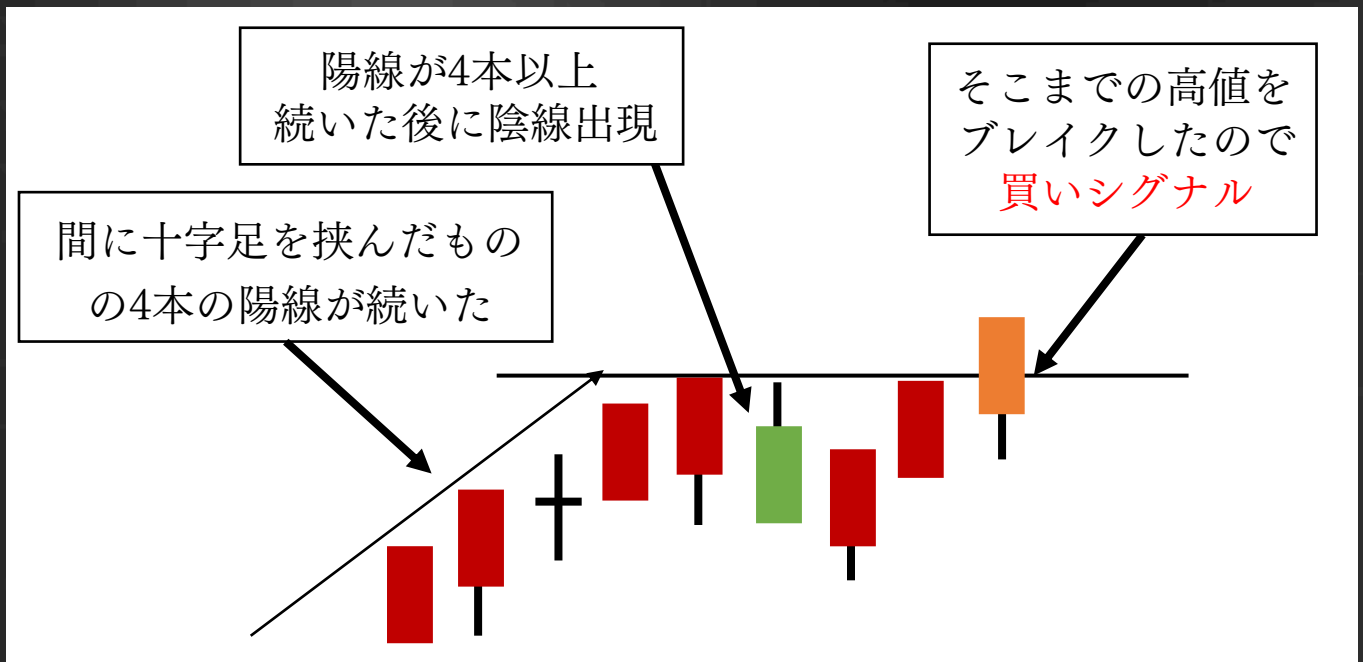
解説

5分足で陰線が4本以上続けて出現したあと、陽線が出現した場合、それらを形成する過程で出来た安値を更新してきたら順張りする。尚、陽線が出現してから5分足6本以内（30分間）に安値を更新しなかった場合は、ルールとしてシグナルはキャンセルされる。

見込み・目標利益：

この手法は順張りであり、なおかつ直近の安値をブレイクした際に仕掛ける「ブレイクアウト手法」であるので、出来る限り利益は伸ばす意識を持ちたい。特に取引が活発になる寄り付き直後や引け間際、個別株のお昼休み時間明け、N.Y市場が始まった直後などは値幅が出やすい傾向がある。よって通常は20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になるが、動きが出ている時、出る時間帯では30円～50円くらいを目標に伸ばしてみたい。

【買】5ミニッツコンティ (ロング)



出現度 ★★★★★☆
お勧め度 ★★★★★
利点：トレンドフォローで勢いに乗れる
弱点：レンジ相場では出現しにくい

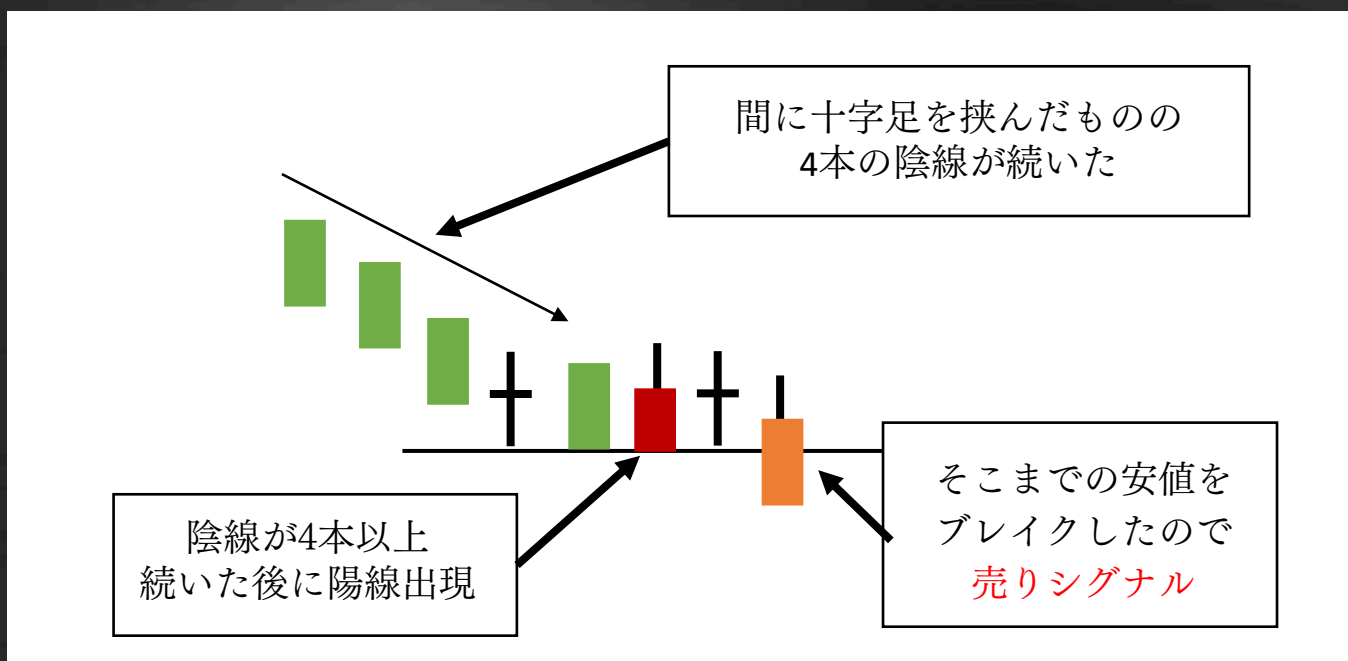
解説

5分足で陽線が4本以上続けて出現したあと、陰線が出現した場合、それらを形成する過程で出来た高値を更新してきたら順張りする。尚、陰線が出現してから5分足6本以内（30分間）に高値を更新しなかった場合は、ルールとしてシグナルはキャンセルされる。

見込み・目標利益：

この手法は順張りであり、なおかつ直近の高値をブレイクした際に仕掛ける「ブレイクアウト手法」であるので、出来る限り利益は伸ばす意識を持ちたい。特に取引が活発になる寄り付き直後や引け間際、個別株のお昼休み時間明け、N.Y市場が始まった直後などは値幅が出やすい傾向がある。よって通常は20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になるが、動きが出ている時、出る時間帯では30円～50円くらいを目標に伸ばしてみたい。

【売】 15ミニッツコンティ (ショート)



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★

利点：長めの分足で見るためトレンドフォローで流れに乗れる。
相場の全体像を把握しながらトレード出来る。

弱点：レンジ相場では出現しにくい。4本連続で同種の足が
出現するのに最低60分かかるなど、「待つ」姿勢が大事となる。

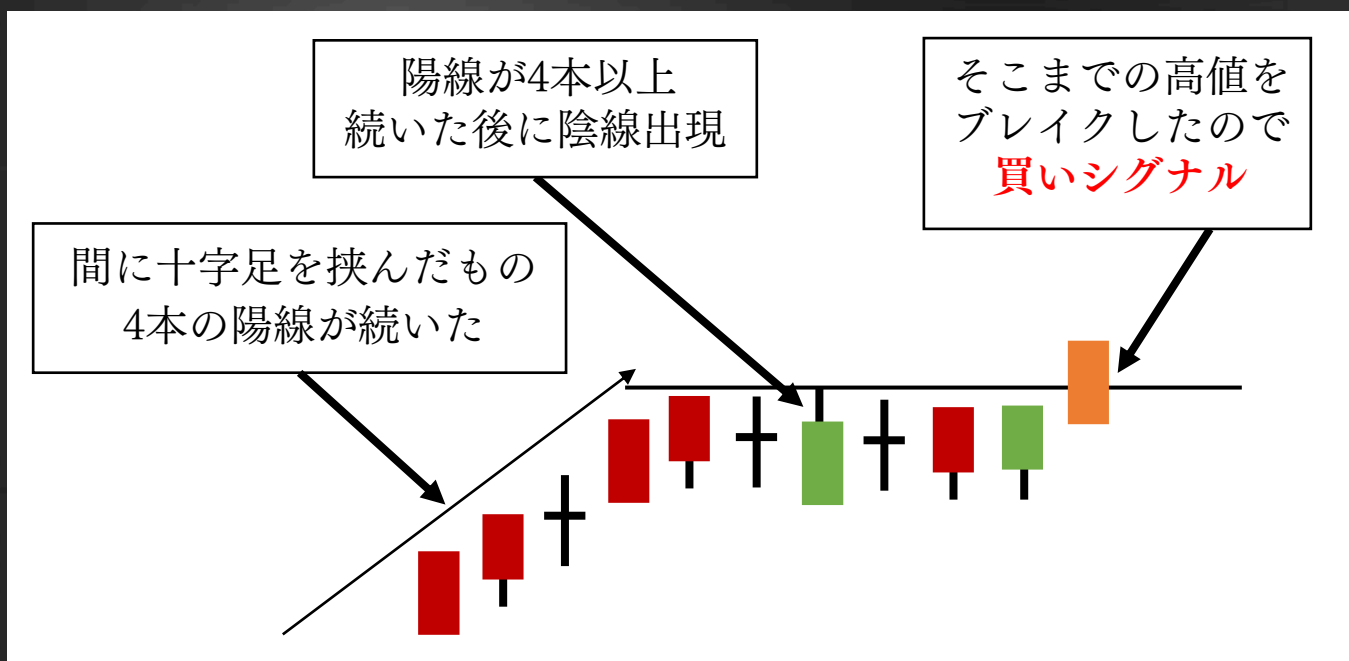
解説

15分足で陰線が4本以上続けて出現したあと、陽線が出現した場合、それらを形成する過程で出来た安値を更新してきたら順張りする。尚、陽線が出現した後、15分足4本以内（60分）に安値を更新しなかった場合は、ルールとしてシグナルはキャンセルされる。

見込み・目標利益：

この手法は順張りであり、なおかつ直近の安値をブレイクした際に仕掛ける「ブレイクアウト手法」であるので、出来る限り利益は伸ばす意識を持ちたい。15分足という長めの足を使うので、その中で出来たトレンドは強いものと考えられ、大きな流れに乗るには最適といえる。また、下落は上昇よりも強く大きな流れが発生することが多いので、通常の動きの中では20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になるが、大きな流れに乗りたい場合は、多少の上げ下げには目を瞑って、大きくゲインするのを待つことも出来る。

【買】 15ミニッツコンティ (ロング)



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★★

利点：長めの分足で見るとトレンドフォローで流れに乗れる。
相場の全体像を把握しながらトレード出来る。

弱点：レンジ相場では出現しにくい。4本連続で
同種の足が出現するのに最低60分かかるなど、
「待つ」姿勢が大事となる。

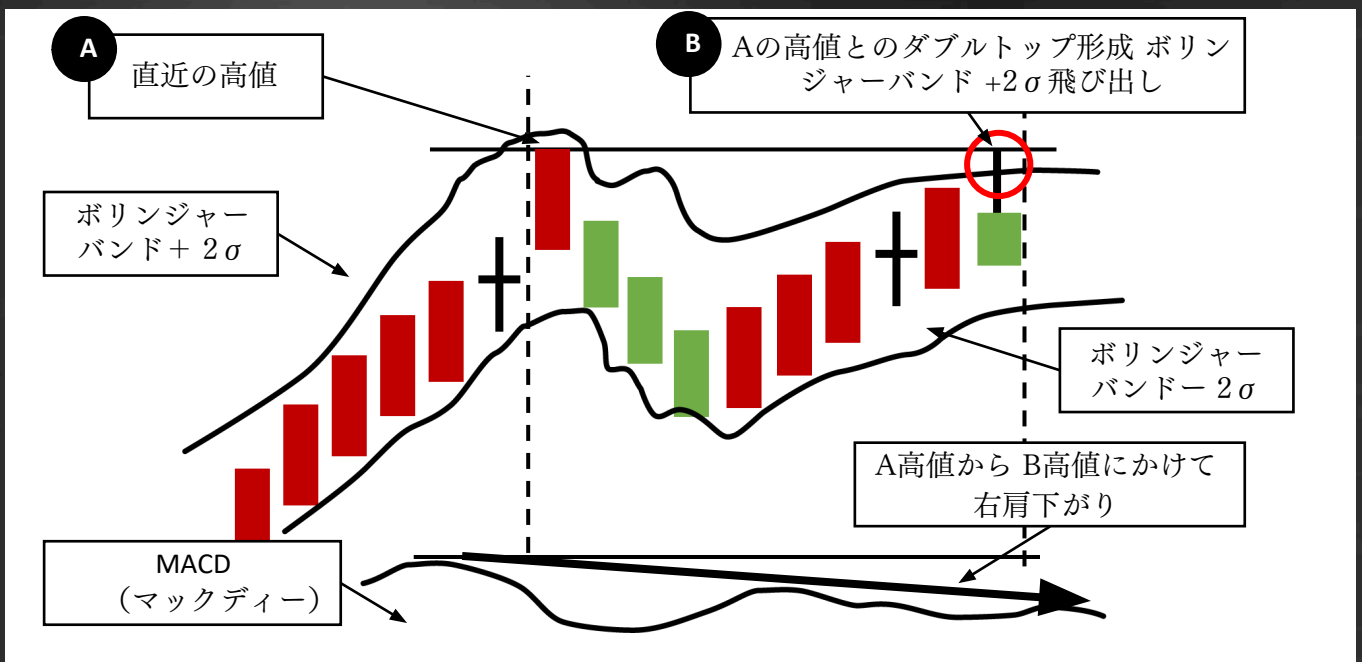
解説

15分足で陽線が4本以上続けて出現したあと、陰線が出現した場合、それらを形成する過程で出来た高値を更新してきたら順張りする。尚、陰線が出現した後、15分足4本以内（60分）に高値を更新しなかった場合は、ルールとしてシグナルはキャンセルされる。

見込み・目標利益：

この手法は順張りであり、なおかつ直近の高値をブレイクした際に仕掛ける「ブレイクアウト手法」であるので、出来る限り利益は伸ばす意識を持ちたい。15分足という長めの足を使うので、その中で出来たトレンドは強いものと考えられ、大きな流れに乗るには最適といえる。通常の動きの中では20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になるが、ゆったりと流れに乗りたい場合は、多少の上げ下げには目を瞑って、大きくゲインするのを待つことも出来る。

【売】1分MACDボリバン逆張り（ショート）



出現度 ★★★★★

お勧め度 ★★★★★

利点：膠着相場に出現しやすいため

動きの乏しい相場でもトレードできる。

弱点：トレンドが発生してる相場では出現しにくく

出現した場合でもダマシになることもある。

解説

Aの高値から Bで高値を付けダブルトップを形成。

①Bでボリバンジヤーバンド +2σ（シグマ）を飛び出している。

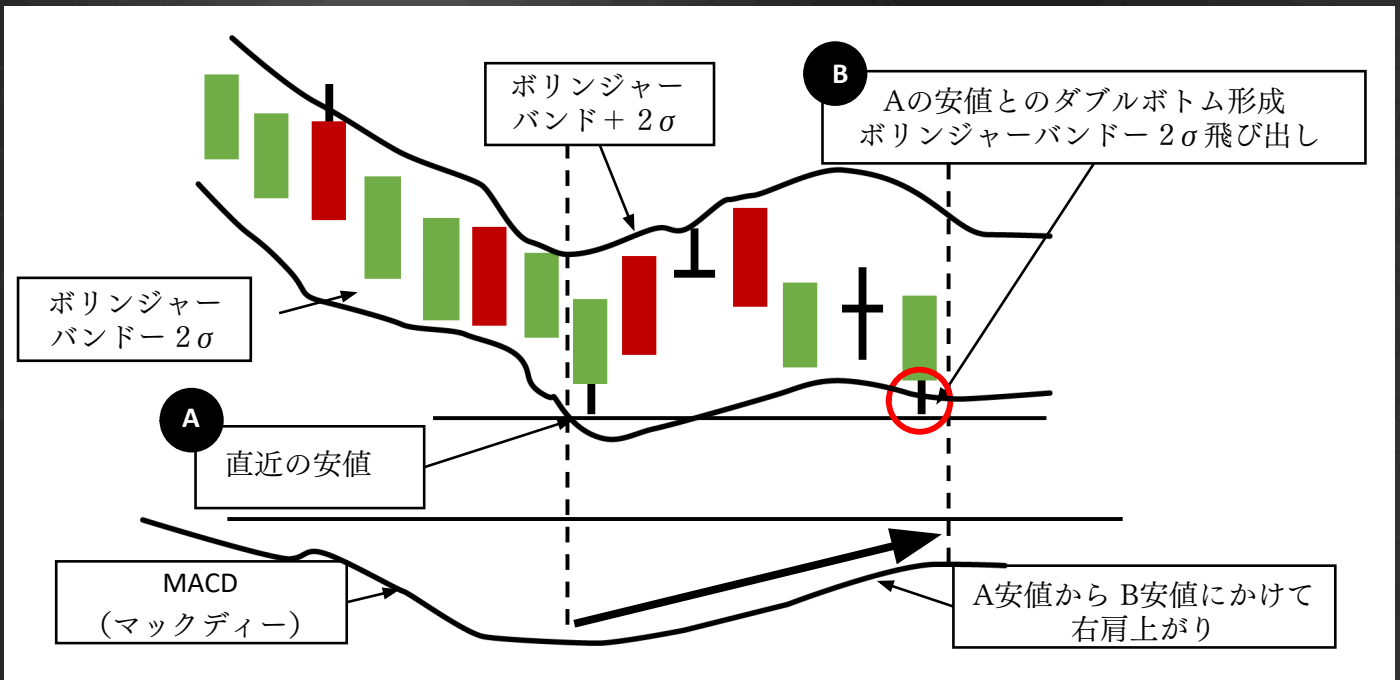
②A、Bの地点での MACDを比較すると、
AからBにかけて右肩に下がっている。

これらの条件が揃った場合、B地点でのショートが検討できる。

見込み・目標利益：

この手法は逆張りであり、目先の勢いとは反対のポジションを取るために、リスクマネジメントが重要になってくる。利益を伸ばす意識ではなく、「とりあえずは一旦止まって跳ね返る」との意識でOK。ボラティリティ（値動きの幅）がない時に出現しやすく、ノーマルトrend時に機能しやすい手法である。ただ、とりあえずは一旦止まって・・・程度に考えると、通常は20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。エントリーできるかどうかあらかじめわかることが多い逆張りなので、待ち伏せでのエントリーが出来るため、仕掛け、利食い、ロスカットを同時にセットする事も可能。

【買】1分MACDボリバン逆張り（ロング）



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★☆

利点：膠着相場に出現しやすいため動きの乏しい相場でもトレードできる。

弱点：トレンドが発生してる相場では出現しにくく出現した場合でも
ダマシになることもある。大きな下落時にはリスクが増す。

解説

Aの安値からBで安値を付けダブルボトムを形成。

①Bでボリバンバンド -2σ （シグマ）を飛び出している。

②A、Bの地点でのMACDを比較すると、

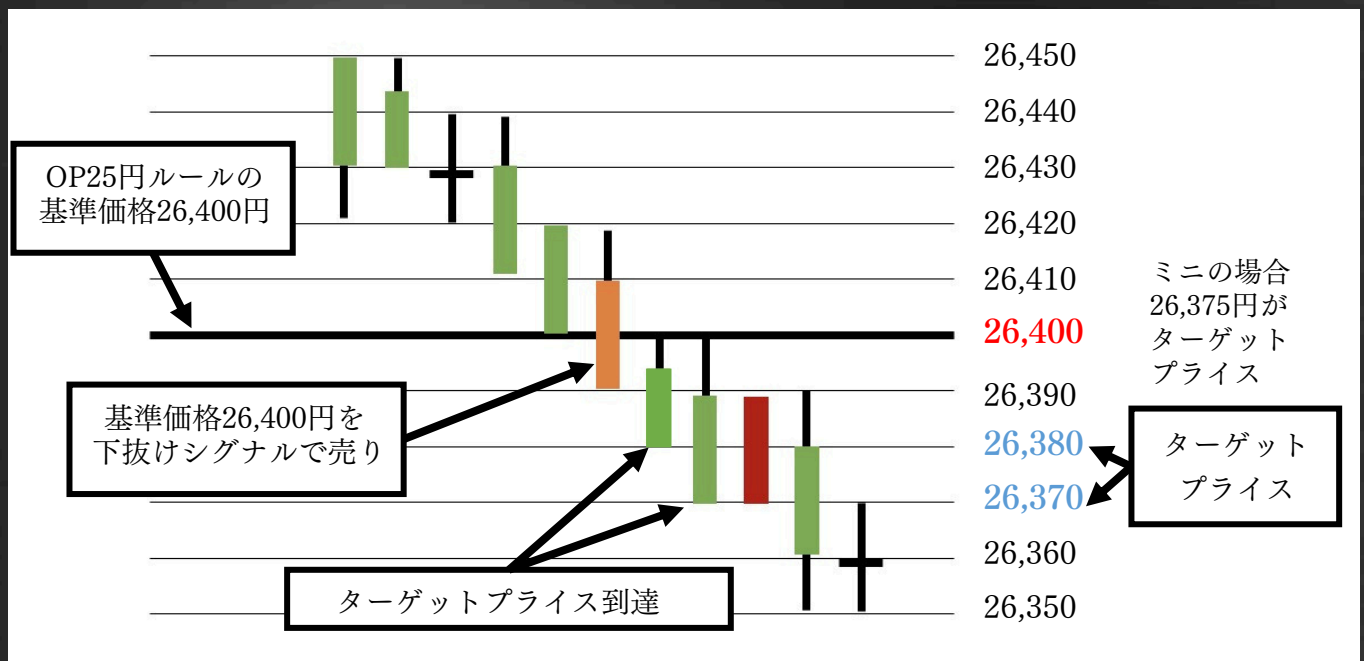
AからBにかけて右肩に上がっている。

これらの条件が揃った場合、B地点でのロングが検討できる。

見込み・目標利益：

この手法は逆張りであり、目先の勢いとは反対のポジションを取るために、リスクマネジメントが重要になってくる。利益を伸ばす意識ではなく、「とりあえずは一旦止まって跳ね返る」との意識でOK。ボラティリティ（値動きの幅）がない時に出現しやすく、ノーマルトrend時に機能しやすい手法である。ただ、とりあえずは一旦止まって・・・程度に考えると、通常は20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。エントリーできるかどうかあらかじめわかることが多い逆張りなので、待ち伏せでのエントリーが出来るため、仕掛け、利食い、ロスカットを同時にセットする事も可能。ただし、逆張り買いの場合、大きな下落の後には自重した方が無難。なぜなら下落相場時のエネルギーは上昇時のそれよりも大きくなり（パニック等で）時にテクニカルを無視した動きになりがちだからである。

【売】 OP25円ルール (ショート)



出現度 ★★★★★

お勧め度 ★★★★★

利点：出現頻度が高くトレード機会が多い。ダマシにはなりにくく、仕掛けには安心感がある。また基準価格への出入りが活発になり、連続してトレード機会が訪れる場合が多々ある。

弱点：ミニで仕掛ける場合、レンジのチャートで基準価格のブレイクを確認してからの仕掛けになるので、タイミングが合わないと一気に走られエントリーチャンスを逃すこともある。またロスカットの基準が曖昧になりやすい。

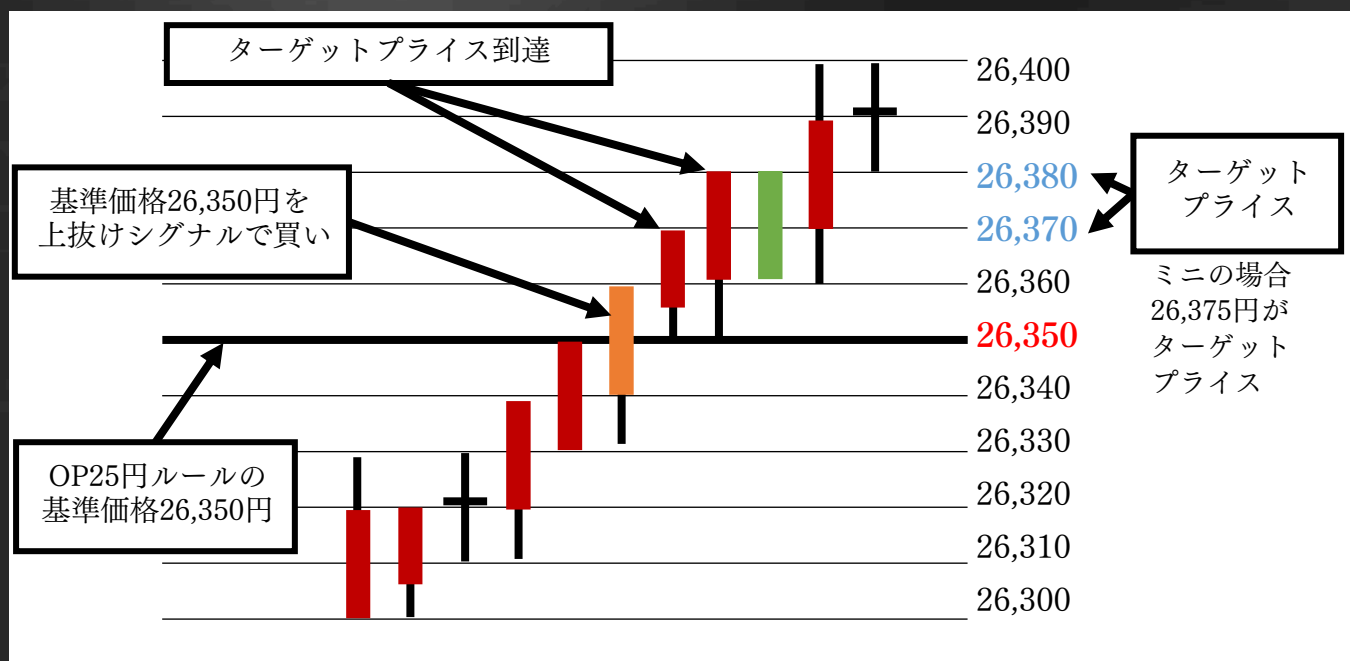
解説

価格はOP権利行使価格（以下OP行使価格）に向かい易いという、日経225先物の特性を生かした手法。特に端数のあるOP行使価格（ex…26,375円、26,625円、26,875円…）に向かう習性があり（一種の通り道）、OP行使価格に向かう動きを狙う順張り手法である。端数のあるOP行使価格に25円をプラスした価格が基準価格となり、そこを下にブレイクして来たら順張り売りをするもの。

見込み・目標利益：

日経225先物に於いては一日を通してOP行使価格を通らないことはほぼ皆無と言ってよい。特に端数のあるOP行使価格については、価格の落としどころ（売り手・買い手双方の妥協点）として使われることがあるため、非常に意識されやすい。仕掛けは日経225先物のミニでのみ可能で、レンジには適さない。利益目標は20円を手堅く・・・という手法。

【買】 OP25円ルール (ロング)



出現度 ★★★★★

お勧め度 ★★★★★

利点：出現頻度が高くトレード機会が多い。ダマシにはなりにくく、仕掛けには安心感がある。また基準価格への出入りが活発になり、連続してトレード機会が訪れる場合が多々ある。

弱点：ミニで仕掛ける場合、レンジのチャートで基準価格のブレイクを確認してから仕掛けになるので、タイミングが合わないと一気に走られエントリーチャンスを逃すこともある。またロスカットの基準が曖昧になりやすい。

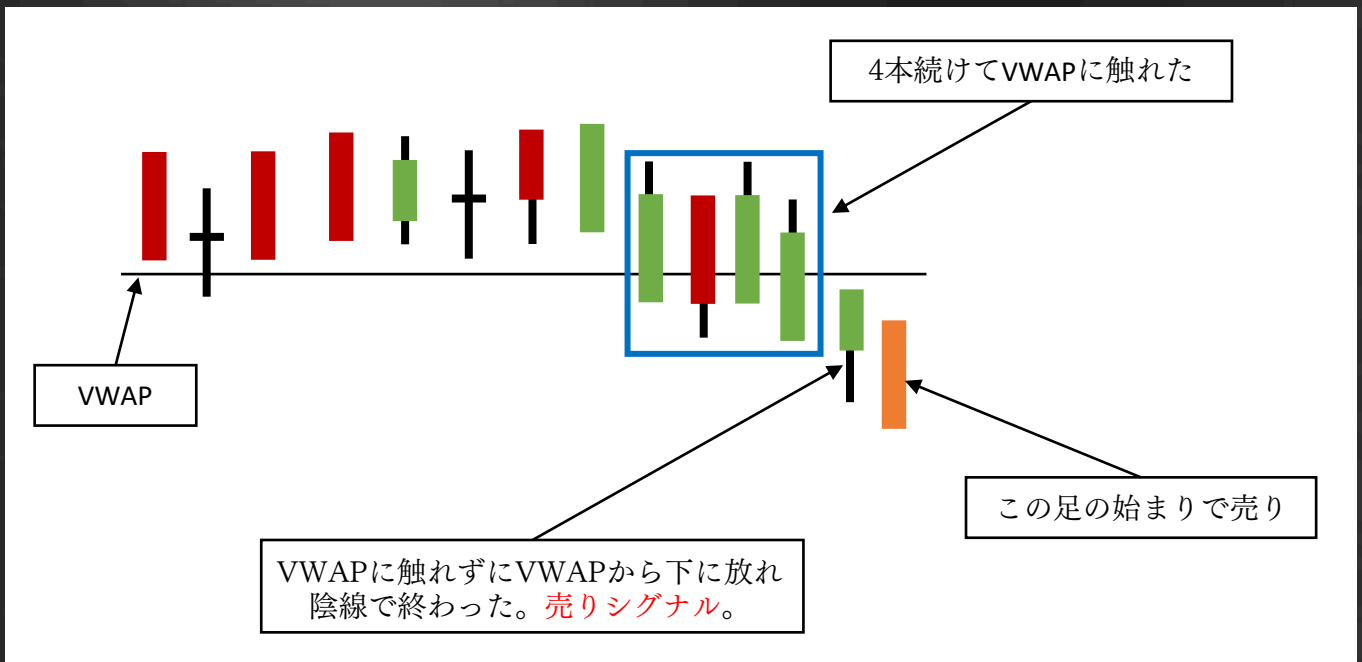
解説

価格はOP権利行使価格（以下OP行使価格）に向かい易いという、日経225先物の特性を生かした手法。特に端数のあるOP行使価格（ex…26375円、26625円、26875円…）に向かう習性があり（一種の通り道）、OP行使価格に向かう動きを狙う順張り手法である。端数のあるOP行使価格に25円をマイナスした価格が基準価格となり、そこを上をブレイクして来たら順張り買いをするもの。

見込み・目標利益：

日経225先物に於いては一日を通してOP行使価格を通らないことはほぼ皆無と言ってよい。特に端数のあるOP行使価格については、価格の落としどころ（売り手・買い手双方の妥協点）として使われることがあるため、非常に意識されやすい。仕掛けは日経225先物のミニでのみ可能で、レンジには適さない。利益目標は20円を手堅く・・・という手法。

【売】V4連続放れ（ショート）



出現度 ★★★★★☆☆

お勧め度 ★★★★★★★

利点：膠着放れなのでシグナルが起点となって、トレンド形成に向かう動きも狙える。また、気持ち的に前向きになれないこう着感のある流れの中で、連続しVWAPに触る展開となれば、このシグナル待ちが出来るため、ある種の期待感を生じる。

弱点：最低15分足4本で60分、シグナル確定足15分の計75分が必要となるため、シグナル出現までの時間がかかる。また、例えばローソク足3本が絡んだ後に4本目で放れてしまうと、一旦リセットされてしまうため、待ち時間のロスを感じる事がままある。

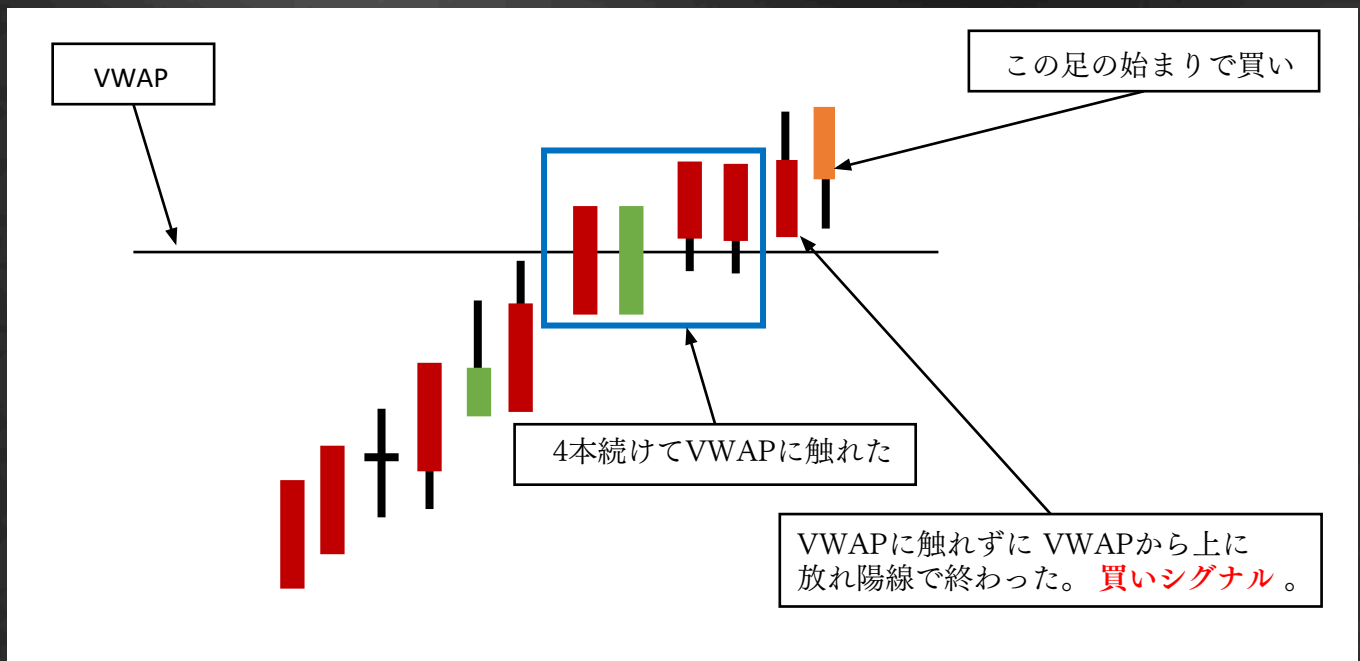
解説

15分足チャートに於いて、ローソク足が4本連続でVWAPに触れた後に、VWAPに触らないローソク足がVWAPより下に出現した場合、そのローソク足が陰線ならば次の足の始めでショートとなる。尚、VWAPに触らないローソク足が陰線でも陽線でもない場合（十字足など）もOKとする。VWAPに触らないローソク足が陽線の場合は、ルール外となる。

見込み・目標利益：

VWAPは機関投資家の注目する指標の一つで、ローソク足がVWAPに絡んでの動きはよく見られる展開。特に一日を通してこう着感のある相場ではこのパターンになることも多く、トレード機会はそれなりにある。また、ナイトセッション（16：30～）はVWAPの表示がその時刻からのスタートとなるため、VWAPに続けて触れることがよく見られる。こう着放れなので値が飛ぶこともあり、動きによっては利益を伸ばせるパターンも多い。目先20～30円は手堅く狙いながら、走るような動きとなれば50円位の値幅は狙ってみたい。

【買】V4連続放れ（ロング）



出現度 ★★★☆☆

お勧め度 ★★★★★

利点：膠着放れなのでシグナルが起点となって、トレンド形成に向かう動きも狙える。また、気持ち的に前向きになれないような着感のある流れの中で、連続してVWAPに触る展開となれば、このシグナル待ちが出来るため、ある種の期待感を生じる。

弱点：最低15分足4本で60分、シグナル確定足15分の計75分が必要となるため、シグナル出現までの時間がかかる。また、例えばローソク足3本が絡んだ後に4本目で放れてしまうと、一旦リセットされてしまうため、待ち時間のロスを感じる事がままある。

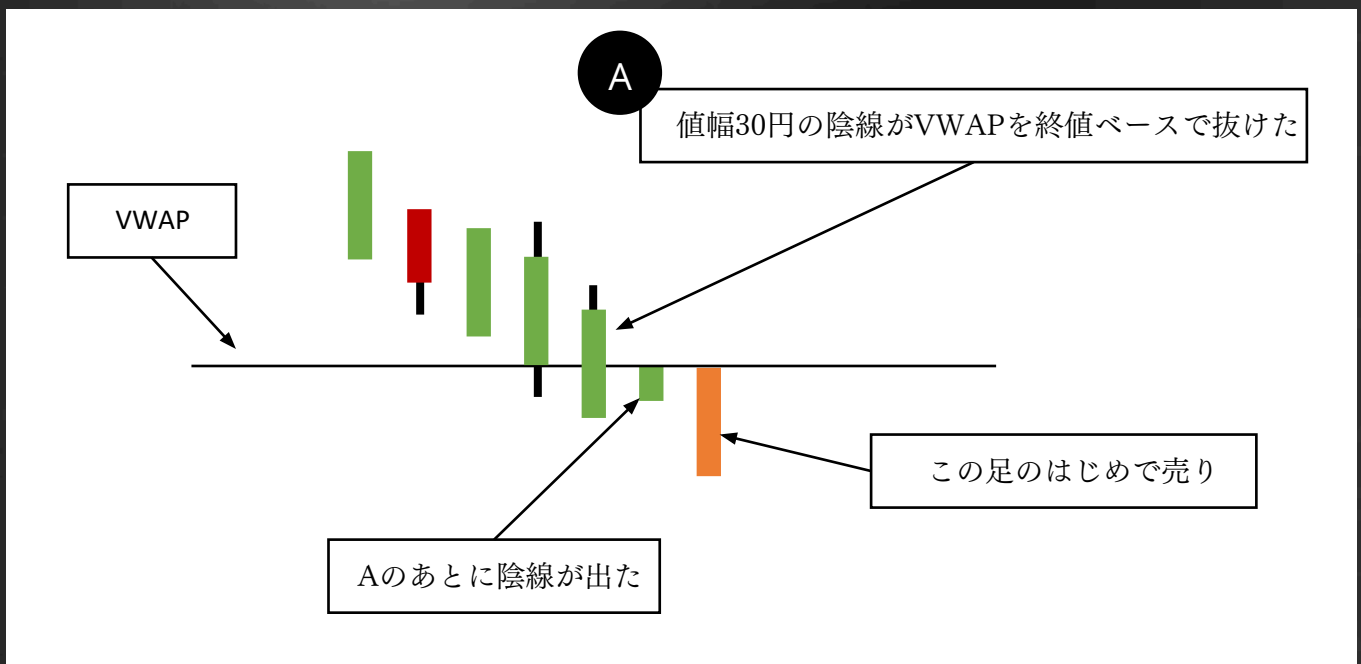
解説

15分足チャートに於いて、ローソク足が4本連続でVWAPに触れた後に、VWAPに触らないローソク足がVWAPより上に出現した場合、そのローソク足が陽線ならば次の足の始めでロングとなる。尚、VWAPに触らないローソク足が陰線でも陽線でもない場合（十字足など）もOKとする。VWAPに触らないローソク足が陰線の場合は、ルール外となる。

見込み・目標利益：

VWAPは機関投資家の注目する指標の一つで、ローソク足がVWAPに絡んでの動きはよく見られる展開。特に一日を通してこう着感のある相場ではこのパターンになることも多く、トレード機会はそれなりにある。また、ナイトセッション（16：30～）はVWAPの表示がその時刻からのスタートとなるため、VWAPに続けて触れることがよく見られる。こう着放れなので値が飛ぶこともあり、動きによっては利益を伸ばせるパターンも多い。目先20～30円は手堅く狙いながら、走るような動きとなれば50円位の値幅は狙ってみたい。

【売】 V30抜け (ショート)



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★☆

利点：トレンドフォローで勢いに乗れる相場が動き始めるキッカケになるので、その後に動きが出れば短時間で利益が確保しやすい。下落時は早い。

弱点：こう着相場になると、長い陰線の後に対抗の陽線が出て陰線と陽線の応酬になることがある。

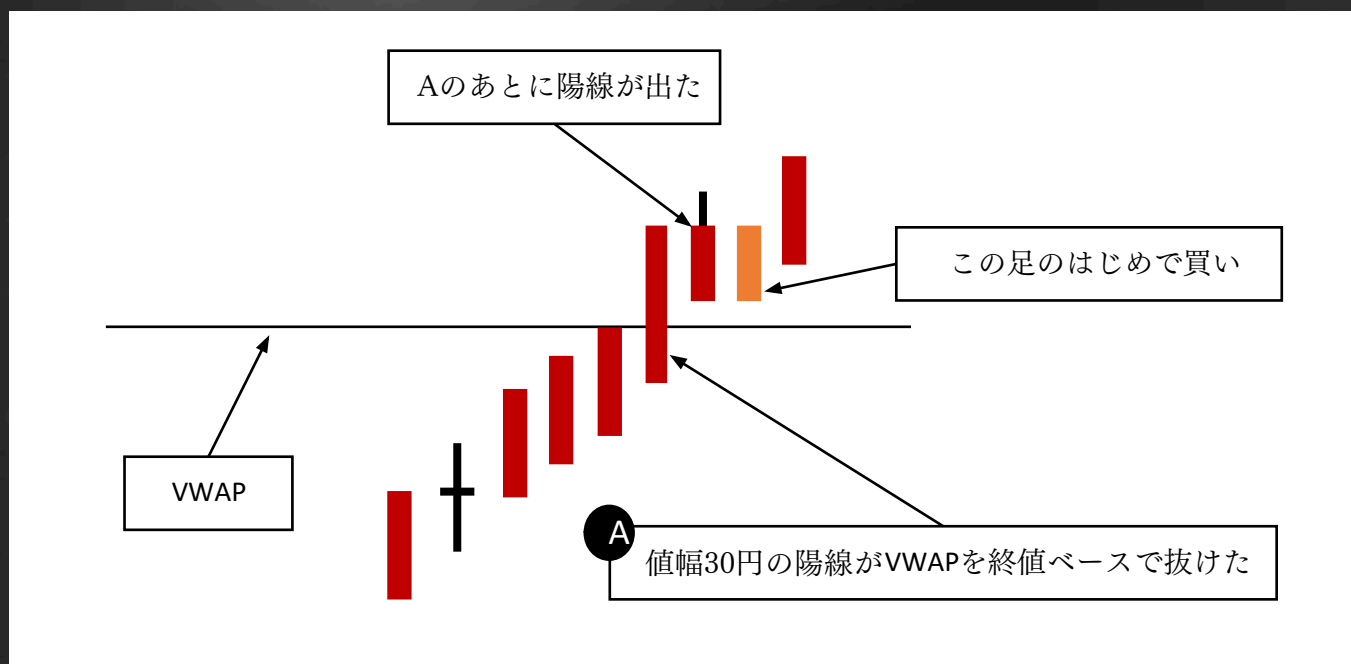
解説

15分足チャートで実体部分が30円以上の陰線のローソク足がVWAPを下抜いて終わったあと、次の足が陰線になったら売りシグナル。ただし、次の足が陰線にならず十字足など実体部分がない足になった場合はそれ以降の足の確定を待つ。尚、実体部分30円以上の陰線がシグナル点灯の条件であるが、実体部分が70円以上の陰線の場合、自重すべきと考える。なぜなら、その足が出現したことで、価格が大きく下げた後の順張りになるので、下げた後に一旦買戻しの出る流れに遭ってしまうと一気に上に戻される事もあるからである。つまり、ルールでは実体部分30円～60円までの陰線の出現時のみという事になる。尚、VWAPを抜けた陰線の次の陰線が実体部分70円以上である場合も、同様に見送り対象とする。

見込み・目標利益：

VWAPを一気に抜ける時は、相場が動くきっかけとなる。ただし、こう着相場では長い足の陰線の後、長い足の陽線が出ることも多々あり、長い陰線で抜けた後すぐにトレンドフォローをすると、ダマシに遭う可能性も往々にしてある。そこで長い陰線で抜けた後にもう15分見ることで、ダマシに遭う確率を軽減出来る。通常は20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になるが、大きな流れが出る場合も多く、動きが出ている時、出る時間帯では30円～50円くらいを目標に伸ばしてみたい。特にネガティブな相場では売りシグナルは強く、思いのほか下げることもあるので期待できる。また、朝の寄り付き後や、ナイトセッションが始まって間もなく、N.Y市場の開始後などでは、動きは出やすい。

【買】 V30抜け (ロング)



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★☆

利点：トレンドフォローで勢いに乗れる相場が動き始めるキッカケになるので、その後に動きが出れば短時間で利益が確保しやすい。

弱点：こう着相場になると、長い陰線の後に反対の陽線が出て陰線と陽線の応酬になることがある。

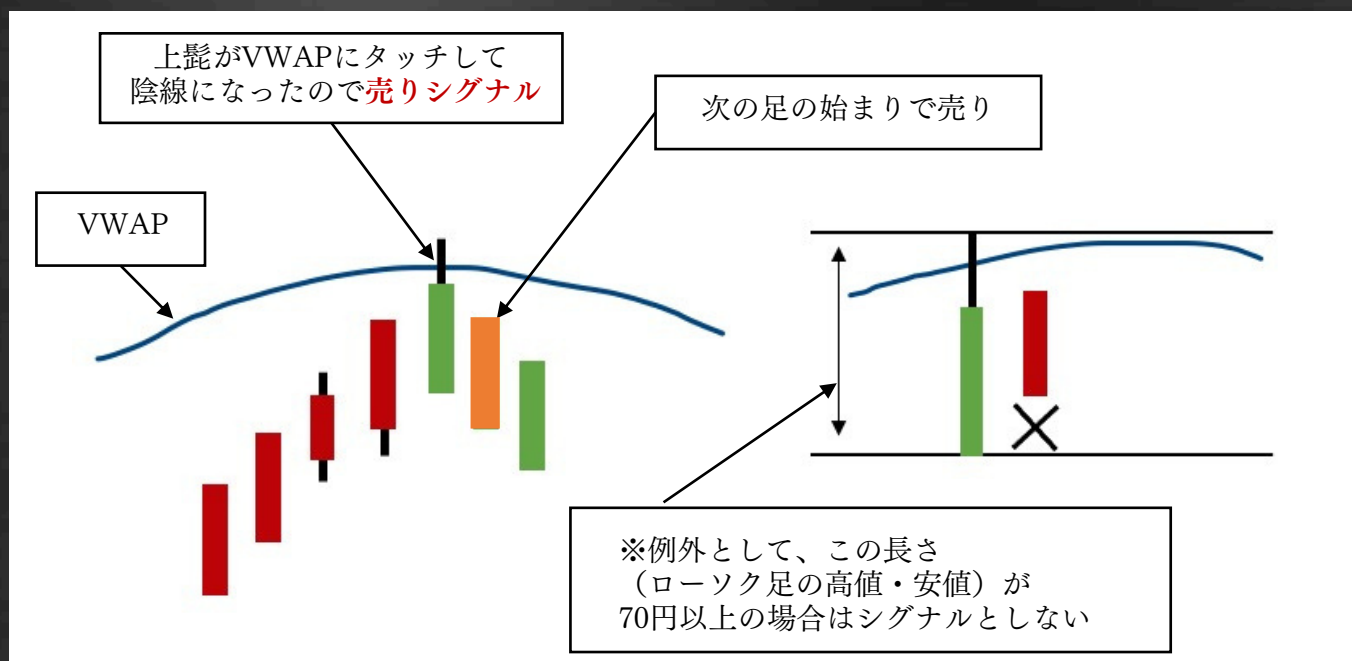
解説

15分足チャートで実体部分が30円以上の陽線のローソク足がVWAPを上抜いて終わったあと、次の足が陽線になったら買いシグナル。ただし、次の足が陽線にならず十字足など実体部分がない足になった場合はそれ以降の足の確定を待つ。尚、実体部分30円以上の陽線がシグナル点灯の条件であるが、実体部分が70円以上の陽線の場合、自重すべきと考える。なぜなら、その足が出現したことで、価格が大きく上げた後の順張りになるので、上げた後に一旦利食い売りの出る流れに遭ってしまうと一気に下げられる事もあるからである。つまり、ルールでは実体部分30円～60円までの陽線の出現時のみという事になる。尚、VWAPを抜けた陽線の次の陽線が実体部分70円以上である場合も、同様に見送り対象とする。

見込み・目標利益：

VWAPを一気に抜ける時は、相場が動くきっかけとなる。ただし、こう着相場では長い足の陽線の後に、長い足の陰線が出ることも多々あり、長い陽線で抜けた後すぐにトレンドフォローをすると、ダマシに遭う可能性も往々にしてある。そこで長い陽線で抜けた後にもう15分見ること、ダマシに遭う確率を軽減出来る。通常は20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になるが、大きな流れが出る場合も多く、動きが出ている時、出る時間帯では30円～50円くらいを目標に伸ばしてみたい。朝の寄り付き後や、ナイトセッションが始まって間もなく、N.Y市場の開始後などでは、動きは出やすい。

【売】Vヒゲタッチ (ショート)



出現度 ★★★★★

お勧め度 ★★★★★

利点：シグナル的にも見た目が簡単。時間問わず出現頻度も多い。

弱点：出現頻度は高いが、ダマシになることも多く、(こう着相場では終始VWAPに絡むことが多いため) そのような動きになった場合の逃げ場がポイント。

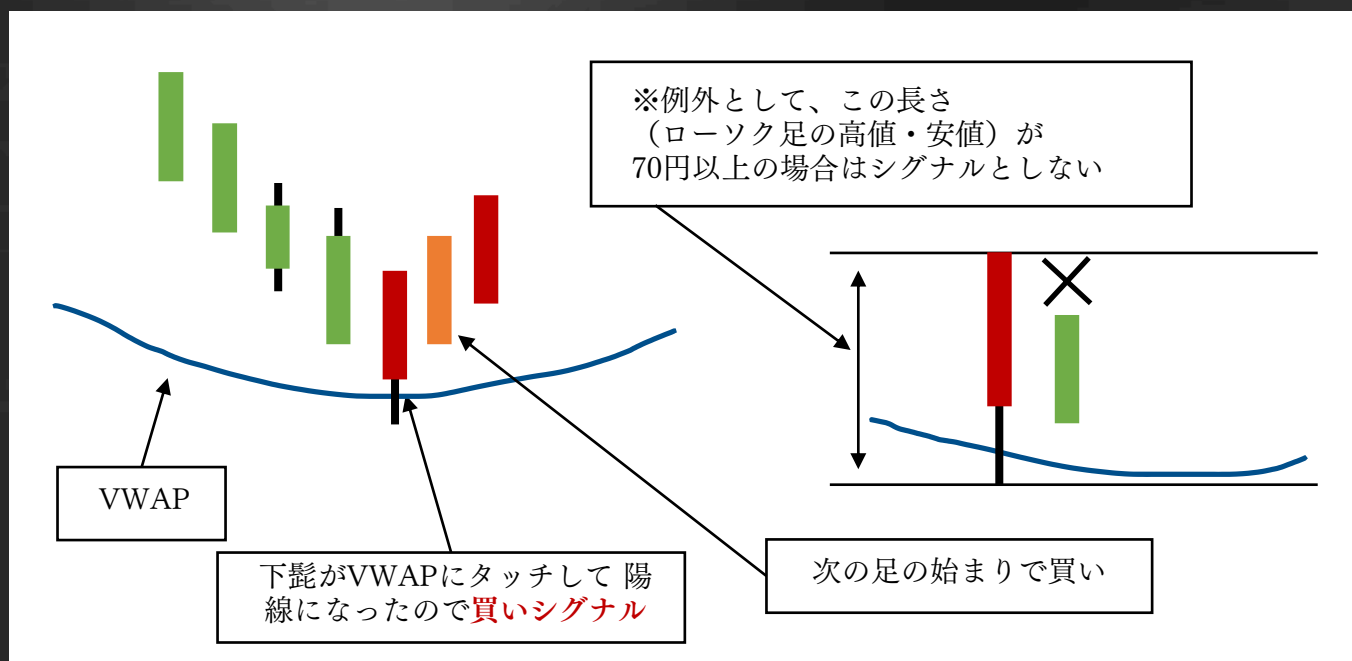
解説

15分足チャートに於いて、VWAPにタッチした後に髭となり、陰線が確定した場合、次の足の始まりで売りとなる。ただし、VWAPにタッチしたローソク足の長さ (高値と安値の幅) が70円以上の幅がある場合は、シグナルとしない。

見込み・目標利益：

上昇トレンドの局面でVWAPにタッチして上髭のついた陰線となった場合、そこが相場の反転のシグナルになることはよくある。ただし、それまでのプロセスがこう着相場となっていた場合はそうとは言い切れない。よって手堅く20円～30円幅 (レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10) が目安になる。ただし、反転とポイントとなった場合は、その後に大きな下落につながることも多いので、最初の動き次第で伸ばすことも考える必要はある。

【買】Vヒゲタッチ (ロング)



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★☆☆

利点：シグナル的にも見た目が簡単。時間問わず出現頻度も多い。

弱点：出現頻度は高いが、ダマシになることも多く、
(こう着相場では終始VWAPに絡むことが多いため)
そのような動きなった場合の逃げ場がポイント。

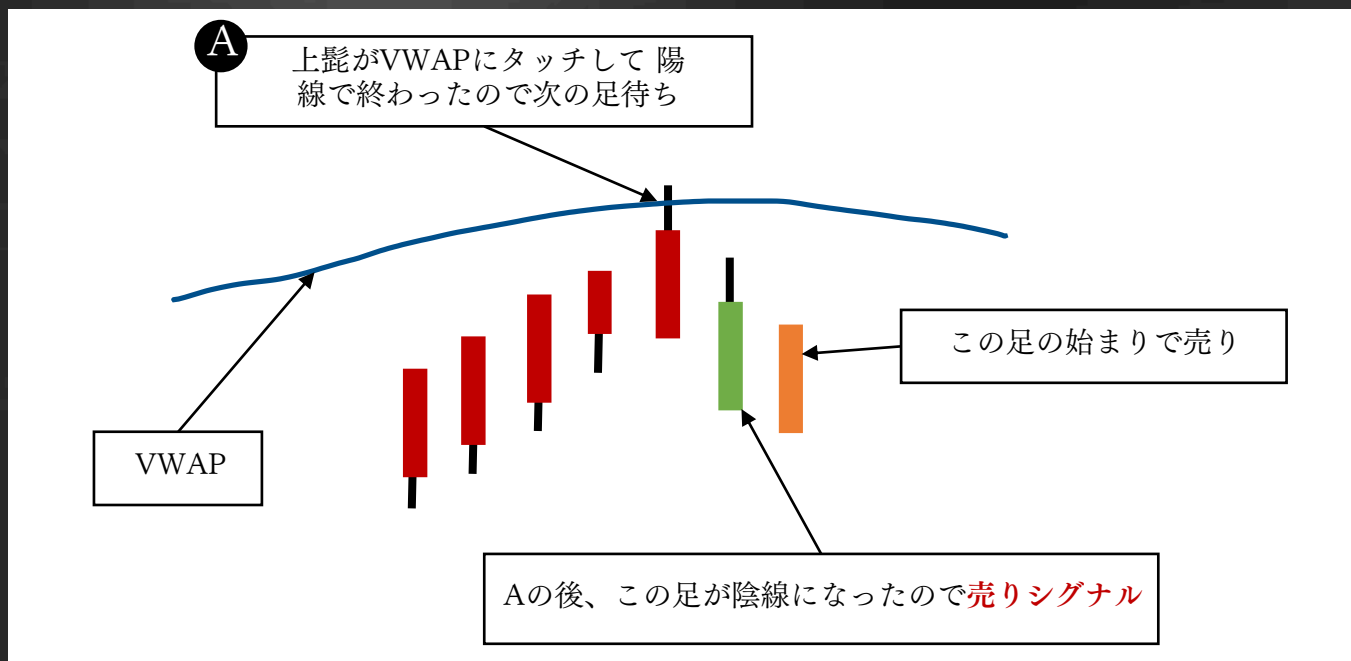
解説

15分足チャートに於いて、VWAPにタッチした後に髭となり、陽線が確定した場合、次の足の始まりで買いとなる。ただし、VWAPにタッチしたローソク足の長さ（高値と安値の幅）が70円以上の幅がある場合は、シグナルとしない。

見込み・目標利益：

下降トレンドの局面でVWAPにタッチして下髭のついた陽線となった場合、そこが相場の反転のシグナルになることはよくある。ただし、それまでのプロセスがこう着相場となっていた場合はそうとは言い切れない。よって手堅く20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。ただし、反転とポイントとなった場合は、その後大きな上昇につながることも多いので、最初の動き次第で伸ばすことも考える必要はある。

【売】V逆足ヒゲタッチ（ショート）



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★☆

利点：シグナル的にも見た目が簡単。時間問わず出現頻度もそれなりにある。Vヒゲタッチショートと比べてシグナル確定までの時間がかかるがその分、信頼性は若干高い。

弱点：出現頻度はそこそこあるが、こう着相場では終始VWAPに絡むことが多いため、そのような動きになった場合の逃げ場がポイント。

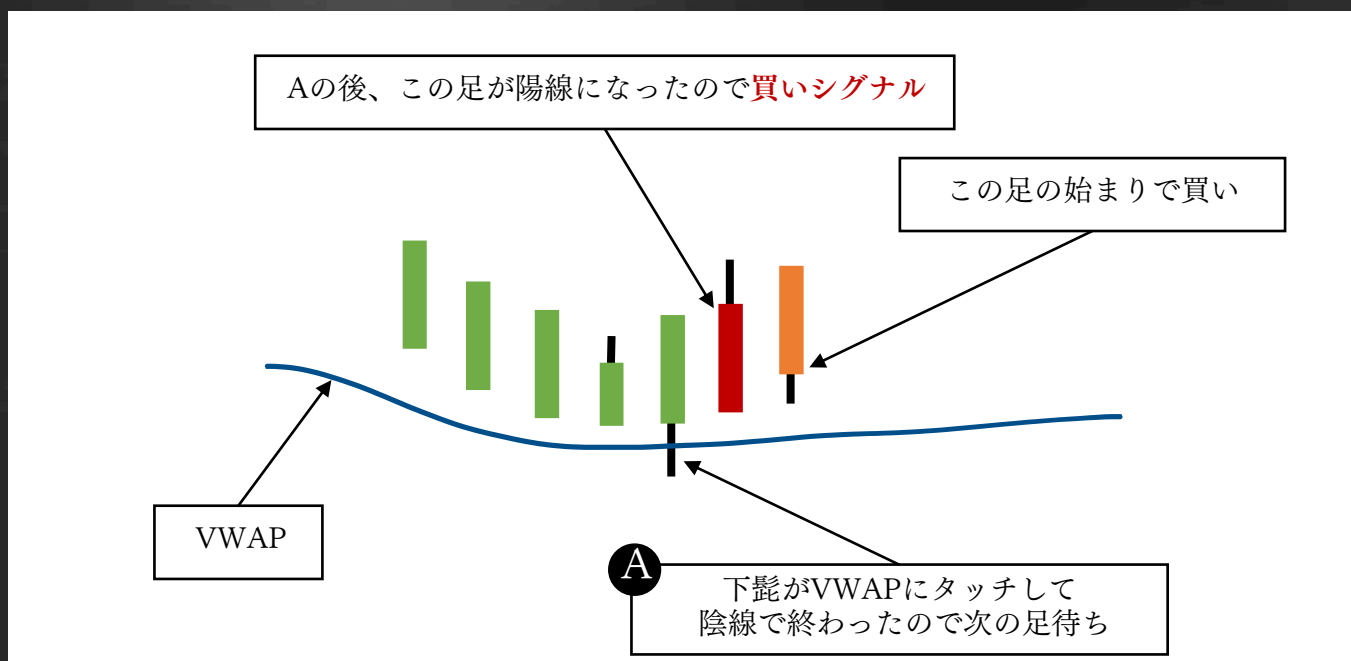
解説

15分チャートに於いて、ローソク足がVWAPにタッチした後に髭となり、それがVWAP下の陽線で終わった場合、次の足が陰線になったのを確認して、次の足の始まりで売りとなる。尚、次の足待ちの際、陰線にも、陽線にもならない場合（寄り引け同値）はさらにもう一本ローソク足の確定を待つ。（陰線陽線が出るまで）勿論、陰線待ちの際に陽線となった場合は次の足は待つことなく、その時点でシグナル待ちはキャンセルとなる。

見込み・目標利益：

上昇トレンドの局面でVWAPにタッチして上髭のついた陽線となった場合、その時点では反転か否かの判断が付きにくい。そこでその次の足が陰線になったことを確認して、さらにその次の足の始まりで売りとするので、ダマシを食いにくい手法。相場の反転のシグナルになることはよくあるが、それまでのプロセスがこう着相場となっていた場合はそうとは言い切れない。よって手堅く20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。ただし、反転とポイントとなった場合は、その後大きな下落につながることも多いので、最初の動き次第で伸ばすことも考える必要はある。

【買】V逆足ヒゲタッチ (ロング)



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★☆

利点：シグナル的にも見た目が簡単。時間問わず出現頻度もそれなりにある。
Vヒゲタッチロングと比べてシグナル確定までの時間がかかるがその分、信頼性は若干高い。

弱点：出現頻度はそこそこあるが、こう着相場では終始VWAPに絡むことが多いため、そのような動きになった場合の逃げ場がポイント。

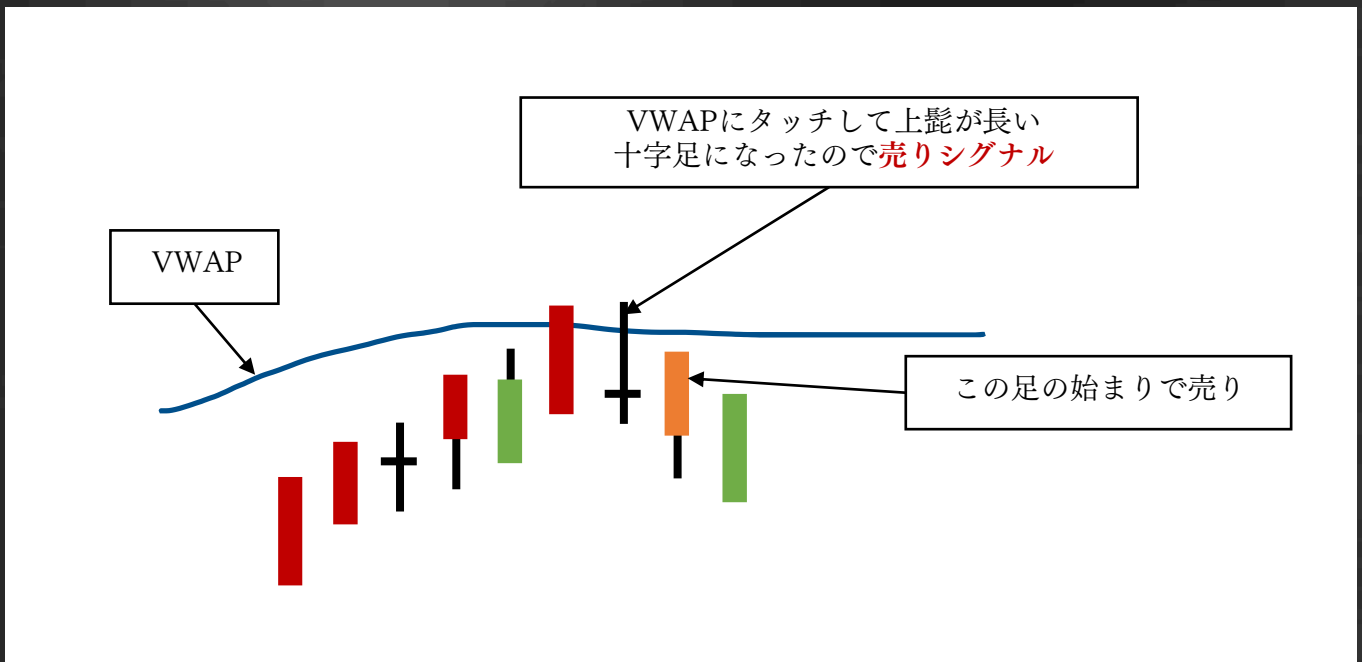
解説

15分チャートに於いて、ローソク足がVWAPにタッチした後に髭となり、それがVWAP上の陰線で終わった場合、次の足が陽線になったのを確認して、次の足の始まりで買いとなる。尚、次の足待ちの際、陰線にも、陽線にもならない場合（寄り引け同値）はさらにもう一本ローソク足の確定を待つ。（陰線陽線が出るまで）勿論、陽線待ちの際に陰線となった場合は次の足は待つことなく、その時点でシグナル待ちはキャンセルとなる。

見込み・目標利益：

下降トレンドの局面でVWAPにタッチして下髭のついた陰線となった場合、その時点では反転か否かの判断が付きにくい。そこでその次の足が陽線になったことを確認して、さらにその次の足の始まりで買いとするので、ダマシを食いにくい手法。相場の反転のシグナルになることはよくあるが、それまでのプロセスがこう着相場となっていた場合はそうとは言い切れない。よって手堅く20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。ただし、反転とポイントとなった場合は、その後に大きな上昇につながることも多いので、最初の動き次第で伸ばすことも考える必要はある。

【売】V十字ヒゲタッチ（ショート）



出現度 ★★★★★

お勧め度 ★★★★★☆

利点：シグナル的にも見た目が簡単。時間問わず出現頻度も多い。

弱点：一旦止まって下落に向かう所を狙うが、こう着相場では下向かう動きが遅くなるため、裁量で見切りを早くつけていく必要がある。

（こう着相場では終始VWAPに絡むことが多いため）

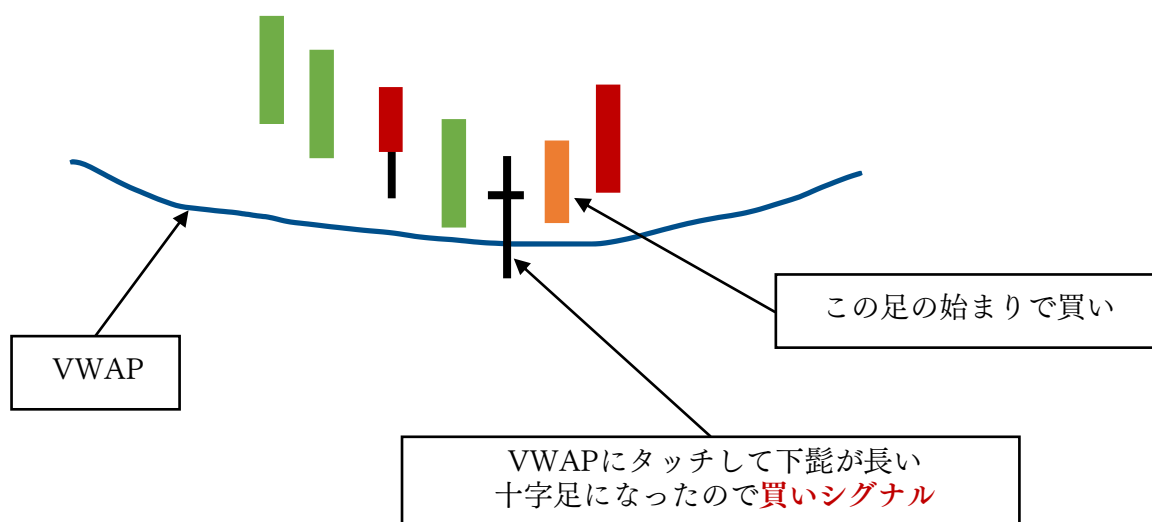
解説

VWAPにタッチしたまま終値がVWAP下となって十字足を形成。上下の髭のうち、上髭、下髭に長さが同じでもよいが、上髭が長い形が理想。下髭が長い場合は自重する。

見込み・目標利益：

VWAPにタッチしたまま実体部分のないローソク足（十字足など）になるような動きの場合、こう着感が出やすい相場であると言える。反面、VWAPタッチから局面が変わりそのまま下落という流れも多々ある。VWAPで一旦止まって下押しする動きを狙う手法であるため、手堅く20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。

【買】V十字ヒゲタッチ (ロング)



出現度 ★★★★★

お勧め度 ★★★★★☆

利点：シグナル的にも見た目が簡単。時間問わず出現頻度も多い。

弱点：一旦止まって上昇を狙うが、こう着相場では上向かう動きが遅くなるため、裁量で見切りを早くつけていく必要がある。
(こう着相場では終始VWAPに絡むことが多いため)

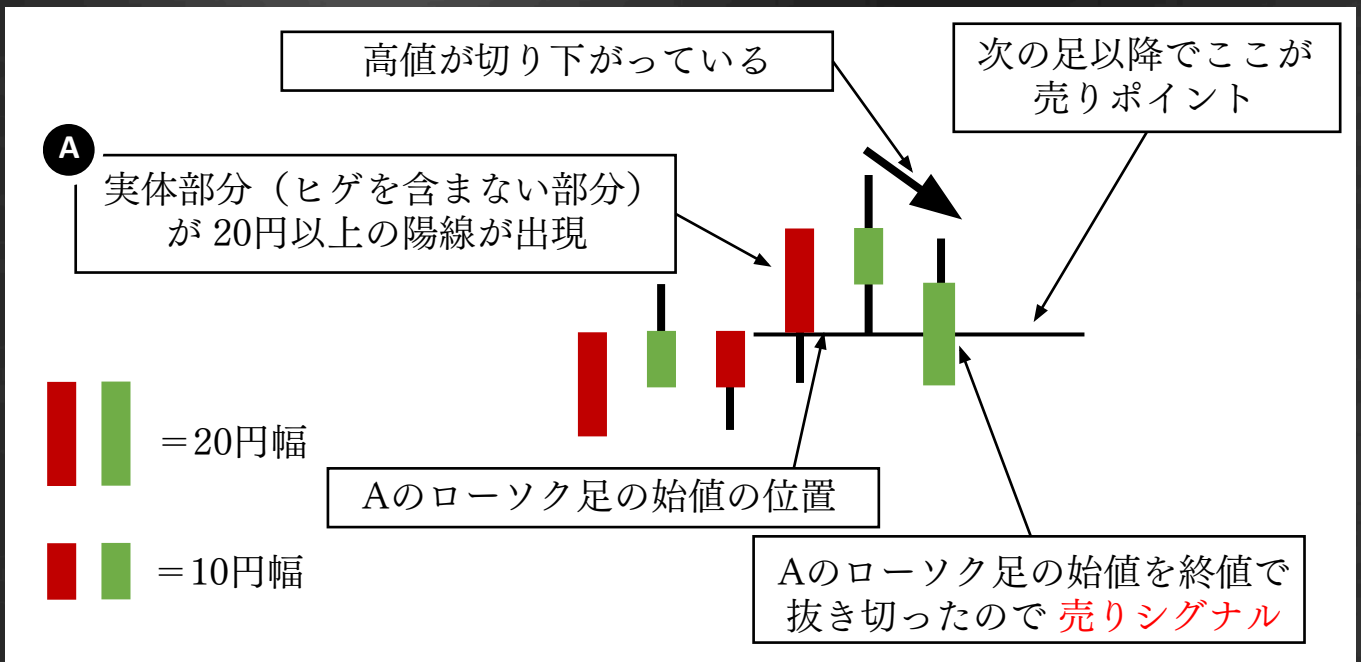
解説

VWAPにタッチしたまま終値がVWAP上となって十字足を形成。上下の髭のうち、上髭、下髭に長さが同じでもよいが、下髭が長い形が理想。上髭が長い場合は自重する。

見込み・目標利益：

VWAPにタッチしたまま実体部分のないローソク足（十字足など）になるような動きの場合、こう着感が出やすい相場であると言える。反面、VWAPタッチから局面が変わりそのまま上昇という流れも多々ある。VWAPで一旦止まって反発する動きを狙う手法であるため、手堅く20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。

【売】 5分2ティックカウンター（ショート）



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★☆

利点：シグナル的にも見た目が簡単。5分足なのでシグナル確定も早い。相場の転換と継続を判断する材料になる。弱点：エントリーポイントまで引き付けられるかどうかポイント。引き付けられずにそのままの勢いで下落となることも多い。

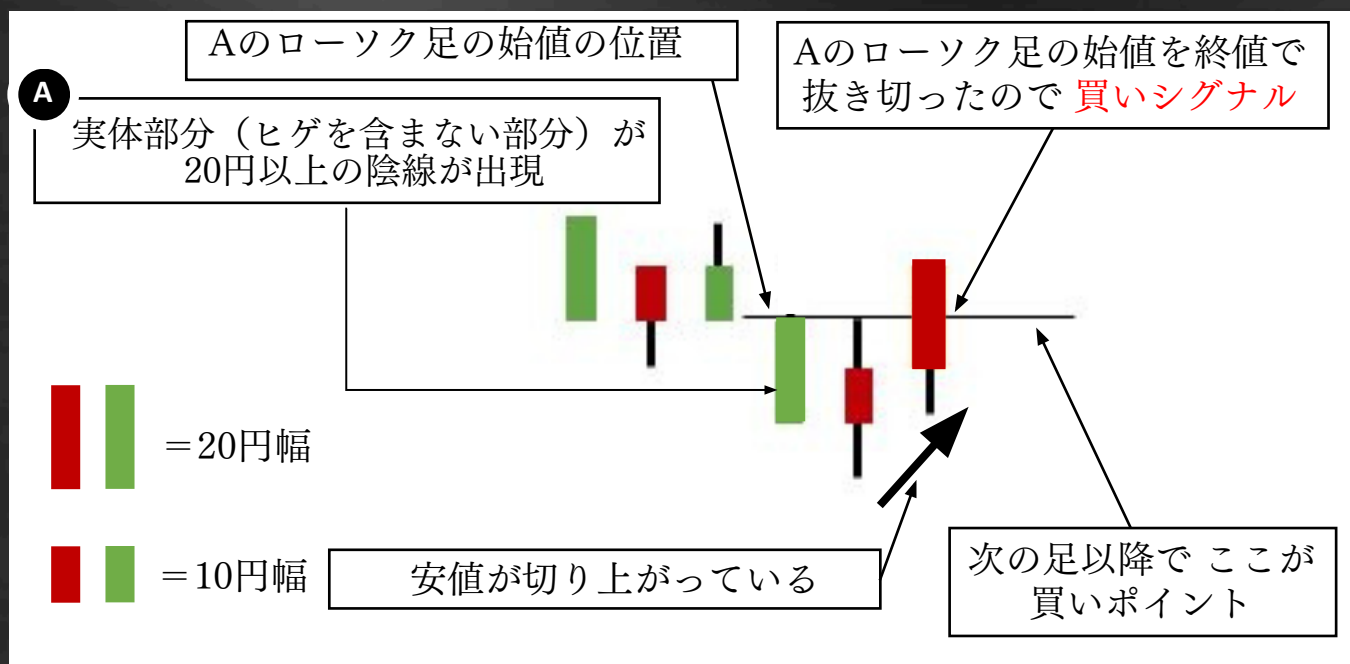
解説

実体部分が20円以上ある陽線の始値を、同じく実体部分が20円以上ある陰線が、終値ベースで抜き切って終わった場合（陽線の否定）、次の足以降で売りが検討できる。尚、この際に直近の高値が切り下がっているのが理想。

見込み・目標利益：

非常に頻繁に目にするが、とにかくこう着相場では陰線と陽線の抜き合いの応酬となりがちで、方向感の出ない相場では厳しい結果となることもある。ただし、この形状は相場の転換と継続を判断するには非常に有効で、下降トレンド内で出た2ティック以上の陽線を陰線が否定していけばトレンドの継続、2ティック以上の陽線が2ティック以上の陰線を否定すれば、転換（反転）とみることが出来る。手堅く20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。ただし、反転とポイントとなった場合は、その後に大きな下落につながることも多いので、最初の動き次第で伸ばすことも考える必要はある。

【買】 5分2ティックカウンター（ロング）



出現度 ★★★★★☆

お勧め度 ★★★★★☆

利点：シグナル的にも見た目が簡単。5分足なのでシグナル確定も早い。相場の転換と継続を判断する材料になる。

弱点：エントリーポイントまで引き付けられるかどうかポイント。引き付けられずにそのままの勢いで上昇となることも多い。

解説

実体部分が20円以上ある陰線の始値を、同じく実体部分が20円以上ある陽線が、終値ベースで抜き切って終わった場合（陰線の否定）、次の足以降で買いが検討できる。尚、この際に直近の安値が切り上がっているのが理想。

見込み・目標利益：

非常に頻繁に目にする、とにかくこう着相場では陰線と陽線の抜き合いの応酬となりがちで、方向感の出ない相場では厳しい結果となることもある。ただし、この形状は相場の転換と継続を判断するには非常に有効で、上昇トレンド内で出た2ティック以上の陰線を陽線が否定していけばトレンドの継続、2ティック以上の陰線が2ティック以上の陽線を否定すれば、転換（反転）とみることが出来る。手堅く20円～30円幅（レンジ1枚で20,000円～30,000円、ミニならばその1/10）が目安になる。ただし、反転とポイントとなった場合は、その後に大きな上昇につながることも多いので、最初の動き次第で伸ばすことも考える必要はある。

